

平成 31 年 3 月 8 日

## 就業構造基本調査における「オーダーメイド集計」を行う際の仕様について

オーダーメイド集計を受託する際の仕様は、次のとおりです。オーダーメイド集計の利用を希望する方は、この仕様に基づき、「統計表作成仕様書」を作成の上、「統計の作成等の委託申出書」と併せて統計センターへ提出してください。

### 1 調査年次

昭和 54 年、57 年、62 年、平成 4 年、9 年、14 年、19 年、24 年、29 年のデータが利用可能です。

### 2 集計対象項目

分類一覧から表頭、表側、欄外に配置する項目を選定します（分類一覧は、統計センターのホームページの「オーダーメイド集計の利用」のページに掲載されています。）

### 3 地域区分

【昭和 54 年】全国、都道府県、10 大都市、14 地域及び 4 大都市圏とします。

【昭和 57 年、62 年】全国、都道府県、11 大都市、14 地域及び 4 大都市圏とします。

【平成 4 年】全国、都道府県、県庁所在市、13 大都市、14 地域及び 4 大都市圏とします。

【平成 9 年】全国、都道府県、県庁所在市、13 大都市、14 地域及び 7 大都市圏とします。

【平成 14 年、19 年、24 年】全国、都道府県、県庁所在市、人口 30 万人以上の市とします。

【平成 29 年】全国、都道府県、政令指定都市、県庁所在市、人口 30 万人以上の市とします。

なお、県庁所在市等は、調査時点のものとしします。

### 4 結果の表章方法

【昭和 54 年、57 年、62 年、平成 4 年、9 年】人口は千人単位、世帯は千世帯単位で結果表章を行います（百の位を四捨五入します。）

【平成 14 年、19 年、24 年、29 年】人口は百人単位、世帯は百世帯単位で結果表章を行います（十の位を四捨五入します。）

分布のなかったセルと標本数が 5 未満のセルは、共に「0」で表章します。

### 5 その他

集計対象項目の組合せの数（クロス数）は、最大で表頭 3 次元、表側 3 次元、欄外 3 次元となります。